

注: 本年10月から、青森市保健所が新しく稼動しましたが、システムの都合上、10月までの青森市分は東地方保健所管内分に含まれます。

第45週の発生動向(2006/11/6~2006/11/12)

1. 咽頭結膜熱については、むつ保健所管内で第44週から**警報**が継続しています。
2. 水痘については、東地方保健所管内で第40週から**警報**が継続しています。
3. 流行性耳下腺炎については、東地方保健所管内において、新たに**警報**が出されました。上十三保健所管内(第44週~)及びむつ保健所管内(第42週~)において**注意報**が継続しています。
4. 感染性胃腸炎が先週に引き続き、**増加傾向にあります**ので、注意が必要です。

第45週五類感染症定点把握

保健所名	東地方		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森市		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ																	0
(60) 咽頭結膜熱											2	0.50			2	0.05	-15
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			20	2.22	6	0.67			13	2.17	6	1.50	15	1.88	60	1.43	2
(62) 感染性胃腸炎	2	2.00	12	1.33	10	1.11	3	0.60	15	2.50	27	6.75	20	2.50	89	2.12	23
(63) 水痘	15	15.00	14	1.56	12	1.33	1	0.20	7	1.17	2	0.50	21	2.63	72	1.71	15
(64) 手足口病			3	0.33	8	0.89	1	0.20	2	0.33			1	0.13	15	0.36	4
(65) 伝染性紅斑					1	0.11	1	0.20	5	0.83	3	0.75	1	0.13	11	0.26	3
(66) 突発性発しん			4	0.44	7	0.78	2	0.40	9	1.50	2	0.50			24	0.57	4
(67) 百日咳																	0
(68) 風しん																	0
(69) ヘルパンギーナ			1	0.11			1	0.20					1	0.13	3	0.07	-2
(70) 麻しん(成人を除く)																	0
(71) 流行性耳下腺炎	7	7.00	16	1.78	20	2.22	1	0.20	19	3.17	12	3.00	15	1.88	90	2.14	8
(73) 急性出血性結膜炎																	0
(74) 流行性角結膜炎							1	1.00	1	0.50			1	0.50	3	0.27	-2
(59) RSウイルス感染症													1	0.13	1	0.02	1
(82) マイコプラズマ肺炎											2	2.00			2	0.33	-7

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (18年計には、今回届出された人数を含む)

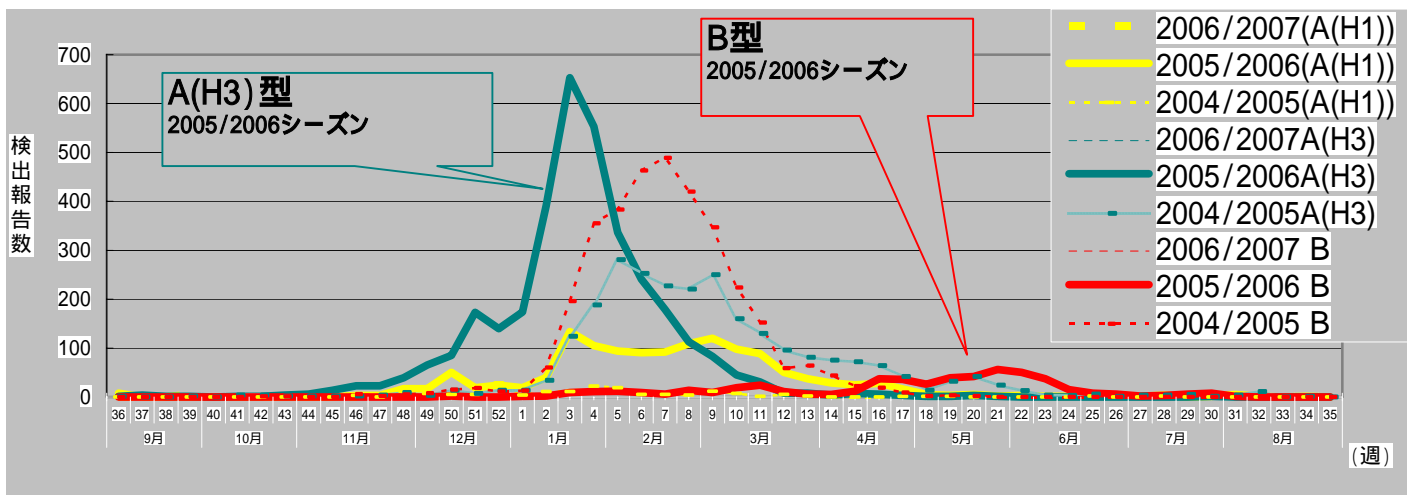
(29) つつが虫病(四類全数把握疾患)

八戸保健所管内: 1人

(18年計21人)

感染症の窓

インフルエンザ



2004年から2006年までのインフルエンザウイルス分離・検出報告数(統計データ: 病原微生物検出情報)

2005/2006年シーズンは、11月中旬からA(H3)型ウイルスが流行し、1月にピークを形成しました。その後も、小規模ですが、A(H1)型及びB型の流行が見られ、特にB型が6月頃まで検出されました。本疾患は毎年、冬季に流行し、近年は、高齢者施設における集団感染が問題となっています。流行拡大防止のために、**インフルエンザワクチン**の接種については最寄の**医療機関**に相談し、日頃から**手洗い、マスク、うがい**を徹底しましょう。

関連サイト: 保健衛生課 県民のみなさまへ~インフルエンザ予防について~<http://www5.pref.aomori.lg.jp/hoken/26217/cpub.html>